

層雲峡ビジターセンター



〔ギンザンマシコ・緑岳〕

大雪山に生きる鳥～ギンザンマシコ～

夏山シーズンを迎えた大雪山で一際目を引き、多くの野鳥ファンを魅了しているのがギンザンマシコです。ギンザンマシコは、日本では北海道の大雪山や利尻岳のハイマツ帯に生息・繁殖していて、北海道レッドリストでは準絶滅危惧種に指定されている希少性の高い鳥です。

ハイマツの実と言えばホシガラスを思い浮かべますが、ギンザンマシコもハイマツの実を好んで食べます。ハイマツの実がたくさん実る秋には、パチッパチッとハイマツの実をくちばしで割り、中の種子を食べている姿をよく見かけます。ハイマツの実を食べやすいように、ギンザンマシコのくちばしは頑丈に発達しています。

高山の厳しい自然に適応し、進化してきた鳥・ギンザンマシコに会いに、大雪山にいらしてください。



(ハイマツの実)



〔カヤクグリ〕



〔ビンズイ〕



〔ホシガラス〕



〔ノゴマ〕

* 赤岳で観察することができた鳥たち(7月)

もっと知りたい！層雲峡

～当センターのスタッフが、皆さんに知ってほしいことや
あまり知られていない層雲峡のあれこれをご紹介します～

旭川第七師団転地療養所記念碑

紅葉谷の入口に「記念碑」の石碑があります。文字は旧漢字で摩耗して定かではありません。現在、石碑の周りは次第に木々に囲まれ、辿り着くのも一苦労となりました。

内容を要約すると、昭和三年（一九二八年）六月二十一日に、この場所に旭川第七師団の転地療養所が建てられた経緯が記されています。「記念碑」の文字を揮毫したのが当時の師団長「渡邊錠太郎」です。

渡邊錠太郎は教育總監として東京へ赴任し、昭和十一年「二・二六事件」で殺害されます。その娘が渡辺和子さんです。昭和二年に旭川で生まれ、「ノートルダム清心学園理事長」をされていた方です。

大雪山が国立公園に指定されたのが昭和九年です。これらことから、広く国民に知られるところとなるのは必定でしたでしょう。

歴史的に深い関わりのある層雲峡温泉。興味は尽きません。是非、この歴史の重みに思いをはせてみませんか。

第七師団轉地療養所建設記念碑 第七師団長陸軍中將 正四位勲二等功五級 渡邊錠太郎篆額
本轉地療養所の設定は大正四年の頃參列村出身第七師團軍醫部二等軍醫植村秀一氏並びに當時新聞記者として
師團出入の鹽谷忠氏との主唱に其の端を發す
越えて全九年十一月二十日清口一等軍醫佐藤三等主計熊田技手は曾して之が調査に向いたるも地獄谷の
難所に大風雪の厄に遭ひ辛うじて見取圖を作製し引返したり
翌十年陸地測量部の一隊石狩川の上流大雪山山地带を實測せらるるを機とし鹽谷氏は班長稲田大尉と共に本地域を具に踏査し陸軍療養所
として絶好の適地たるを確め時の内務師團長宮崎軍醫部長に進言力説して大いに其の意を動かす所あり其の年十月四日清口軍醫熊田技手
は旭川管林區署長森田技師の熱心なる助力に依り同署員と共に再び現地に細密なる調査を遂げたり仍つて鹽谷氏は荒井初一氏と協同し温
泉經營の目的を以て兼に道廳に提出したる本地の出願を放棄して専ら其の實現に助力し全十三年九月十一日第七師團轉地療養所敷地と
して二萬三千四百坪を道廳より第七師團に移管せられたるも之より先大正二年九月關東大震災の影響は療養所設置の促進に一頓挫を來し
たるが柄其の位置に關し別温泉との競争あり此の關し當敷地内温泉使用を出願するもの雖出し或いは道廳より起算計畫の急流を促さる
る等内外の事變甚だ容易ならざるものとなつた茲に於て鹽谷荒井の両氏は深く之を憂ひ時の國司師團長藤本參謀長宮崎軍醫部長と數次
の折衝を重ね荒井氏は師團の設計に依る療養所建築物を詳附し及上川より療養所に通ずる道路橋梁開闢費の巨額を負担することに決し全十
五年三月宇垣陸相の指令を受く全九年九月陸軍省山田醫務局長現場所を檢分し其の後渡邊師團長島參謀長國友軍醫部長長具藤田西經理部長青
木技師等の熱心なる努力により全設計を了し昭和二年十月より熊田技手監督の下に廣川清吉氏をして工事を實施せしめ療養所附近の道路
橋梁は八木大尉の率いる工兵隊之を開闢し本年六月二十日に工事全般の竣成を見るに至れり
寄附建築物は病室其他附屬舎一式二百二十坪之に上水道電燈浴場等の設備を加へ總工費約四萬圓を要したり
茲に其の竣工を告ぐるに方り記念の爲め經過の概要を誌す

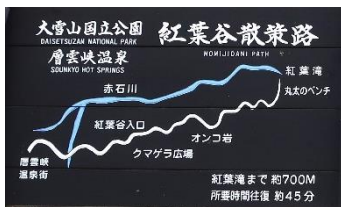
昭和三年六月二十一日建 北海道廳上川支廳長 從六位勲六等 村上壬平 撰文

感 謝 藤 光 雲 書



【記念碑・全文】

※この碑文はビジターセンターで閲覧可能です。
気軽にお声がけください。



拡大

※記念碑は紅葉谷入口看板の後方左手にあります。

(国井)

8/7~11 インターハイ登山大会@大雪山

今年、大雪山を会場として実施されるインターハイ登山大会。何と北海道での開催は36年ぶりだそうです。全国予選を勝ち抜いた都道府県の代表校の精鋭たちと大会関係者約650名が大雪山を歩きます。日程は、8/8 十勝岳連峰、8/9 黒岳、8/9・10 旭岳となっており、黒岳ロープウェイは8/9の早朝の乗車と登山道が混み合うことが予想されます。皆様のご協力とあたたかい応援をどうぞよろしくお願いいたします。



【黒岳】

幸せの青い虫？！

7月上旬、小泉平で青く光る昆虫に出会いました。この昆虫の名前は「カワカミハムシ」。大雪山などの高山帯に生息する昆虫です。北海道 RDB で希少種に選定されていますが、個体数は多く、大雪山を歩くとよく目にすることができます。登山中、運悪く景色が楽しめない時は、幸せの青い虫を探してみてください。



カワカミハムシ
(ハムシ科、7.5~9mm)
分布：北海道

層雲峡ビジターセンター (電話) 01658-9-4400

〒078-1701 北海道 上川郡 上川町 宇層雲峡 ウェブサイト <http://sounkyovc.net>